

技能検定に挑戦

田辺工業高 電気電子科2年生

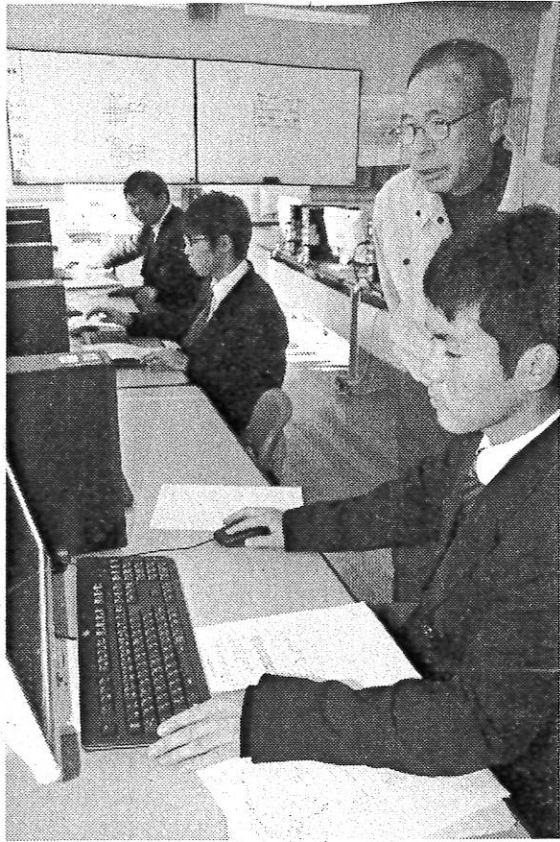
田辺市あけぼのの田辺工業高校電気電子科2年生3人が、国家試験の技能検定「3級電気機器組み立てシケンズ制御作業」に挑戦する。試験は学科が26日、実技が2月8日に同校である。県職業能力開発協会によると、県内の高校に通う生徒で、この検定を受けるのは初めてという。

同校機械科の生徒は、これまでにも技能検定の機械加工や機械保全などに合格しているが、生徒の技能向上を目指し、今回は電気電子科からも初めて受験する。3級シケンズ制御作業の実技試験では課題通り制限時

間内に、電気機器を自動で制御できるようにプログラムを作って配線し、動作を確認する。県職業能力開発協会によると「就職した人が受けるレベルで、授業の内容だけでは通らず専門的な知識が必要になる」という。

受験生は熊野太郎君(17)と岡本賢太君(17)、龍神明宏君(16)。昨年11月から放課後や土、日曜、冬休みを活用し、教員や「ものづくりマインスター」の小林照雄さん(71)＝和歌山市＝から、基本的な知識や必要な記号、プログラムの作り方、配線の仕方などを学んでいる。

小林照雄さん(右から2人目)に教わり、技能検定に向けて学習に励む生徒
＝田辺市あけぼの



今回の技能検定には、機械科からも機械加工普通旋盤作業3級と機械検査作業2、3級に計19人が挑戦する。